

日本指圧専門学校同窓会



会 報

第 12 号

発行年月日 平成5年3月31日

発行人 会長 石垣 惟一

編集者 藤井 正弘

日本指圧専門学校同窓会

東京都文京区小石川2-15-6

〒112 TEL 03-3813-7354

題字 山内貞四郎



ヨーロッパ指圧大会での浪越徹校長先生（オランダにて）

第1回ヨーロッパ指圧大会 盛大に開催

日本指圧専門学校校長 浪越 徹

これは予てよりオランダ指圧学校校長のデニス・ビンクス先生が構想を練っていたもので、ヨーロッパ各国の指圧を統一しようというもので、浪越式の基本を主体にする、ヨーロッパ指圧協会と、そして指圧の研修機関としてヨーロッパ指圧アカデミーの設立を期して、第一回ヨーロッパ指圧大会が、三月十九日（開会式）、二十日から二十三日（特別指圧セミナー）迄五日間にわたって開催されました。今回は私と孝、藤井正弘先生、稲場啓護先生、米津智夫先生、カナダのトロントから斉藤健泉先生の計六名が参加しました。我々一行は三月十八日十二時五十五分発の英国のヴァージンアトランティック航空VS九〇一便のロンドン行き直行便で成田を出発。

機内には各座席の前方の座席の後面に小型液晶テレビが取り付けてあり、丁度顔の前面にある訳で見やすくスイッチ一つで映画が日本語で、英語で見られるのとても便利なのにびっくりしました。到着迄に劇映画が四本見られるのです。十二時間でロンドンのヒスロー空港に到着。ロンドン時間は十七時です。英国航空BA四四四便に乗り継ぎ、十九時二十五分ヒスロー空港を出発二十時三十分にはオランダのスキポール空港に到着する。ここでトラブル発生、私のバゲージが出てこない。空港にはビンクス先生とトロントより我々より早く到着した斉藤健泉先生が迎えに来られていて、早速アムステルダム郊外のヒルベルサムのホテルラパーシヨークに直行する。さあ今夜はぐっすり睡眠をとらないと明日からは大変だ。翌、十九日、大会第一日目は午前十時からビンクス先生の開会の挨拶から始まり、ヨーロッパ指圧協会の設立とビンクス先生の会長就任の宣言が行われた。次いで私が「指圧はユニバーサル医術」と題してスピーチ。次いでオランダに於ける指圧のビデオ、その他のゲストスピーカーで午

前は終了。

（次頁へつづく）

「前頁よりつづく」

午後二時からピンクス先生のヨーロッパ指圧アカデミーの開設の紹介があり、次いで私がヨーロッパ指圧アカデミーの開校宣言。浪越指圧のビデオ放映、そしてヨーロッパ指圧アカデミーのスタッフの紹介とスピーチで五時に終了する。終了と同時に私のバックステージが会場に届いたのです。何とタイミングの良いことでしょうか。会場からは割れんばかりの拍手の嵐でした。二十日は指圧セミナー(1)として私の「指圧とストレッチング」午前十時から十二時三十分迄。午後は二時から四時三十分迄。

十分迄。そして百二十名の受講者全員の受講証にサインして、一人／＼に手渡しして本日は終了の運びとなりました。今回のセミナー四つの内の一つ受講しても良いし、全部受講しても良いそうです。

今夜はこのセミナーの大会場で参加者全員のレセプションパーティーが午後七時から始まり、楽団も入り、ピンクス先生もドラムを叩いて、パーティーは大賑わい。大いに学んだ後は大いに飲み／＼歌え／＼踊れ！

二十一日の指圧セミナーの(2)は私の「子供の指圧法」で午前十時から十二時三十分迄で、ピンクス先生の友人の男の生後五



▶小野田先生一家とホテルの前で



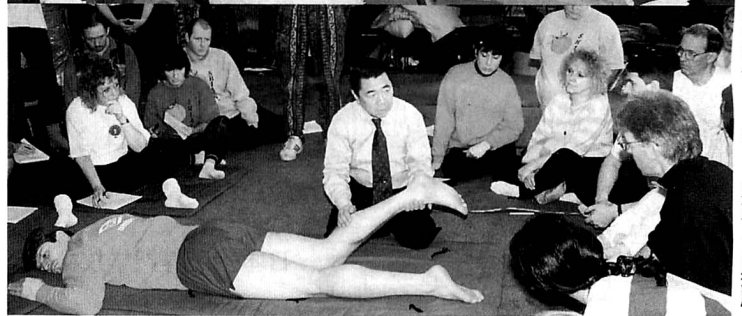
▶ベビー(坐位)指圧のコマ

ヶ月の赤ちゃんをモデルに、赤ちゃん指圧の仕方を指導しましたが、とっても可愛いお人形さんみたいで、ニコニコして全然泣きもしないので如何に指圧が気持ち良いかを皆の前で実証した訳です。午後は七歳と十歳の女兒をモデルに指導しました。この後米津先生による「指圧とアトピー性皮膚疾患」について、斉藤先生に「指圧治療体験談」。次いで稲場先生に自分自身の体験による「手術後の指圧による回復力」について述べてもらって、午後四時三十分から百名の受講証にサイン、手渡しして私のセミナー(2)は本日で終了しました。スペインからは小野田先生一家とそのグループも参加され、我々との再会を大変喜んでくれました。イギリスのシェフィールドからは、イギリス指圧協会会長のバーナード、ノーラン先生も参加され、予てよりノーラン先生と打ち合せてあったシェフィールドの一日指圧セミナーで、我々一行がシェフィールドに二十四日に立ち寄ることを心待ちにしているとのことで、ロンドンからシェフィールド行の往復切符(汽車)六名分を手渡されました。

さていよいよ明日二十二日はロンドンへ向け六人で出発です。二十二日、アムステルダム、スキポール空港を十一時五十分オランダ航空KL119便で出発、ロンドン時間十二時にヒースロー空港に到着しました。空港から二階建バス(ダブルデッカー)に乗って市内のホテルへ向いま



◀シェフィールドでの講演



◀プロフットボール選手への指圧

す。バスの一階に荷物を置き二階に座り、窓を眺めるとまるでパノラマの様に街が見えます。約五十分で、プレジデントホテルに到着しました。何と今夜は八時から本場ロンドンのミュージカルが皆で見られるのです。というのは斉藤健泉先生の患者さんで舞台俳優のプレント・カーバーがロンドンで現在ヒット中の「くも女のキス」の主役で出演中で今日の午後、斉藤先生が彼を指圧して終ってから我々全員を招待してくれるのです。このミュージカルは前売も殆ど売り切れで、まさか見れるとは夢にも思っていませんでした。七時三十分にはシャフツプリーシ

アターに入る会場内はぎっしり満員です。観客は皆マナーも良く如何にもロンドンのシアターという感じがします。ユニークな舞台、音楽、すばらしい演技に皆目をこすり／＼、あっという間に三時間の上演時間が過ぎてしまいました。楽屋から我々に会いに出て来たプレント・カーバー氏の好演を大いに絶賛しました。二十三日は皆で一日ロンドン見物でタクシヤ、地下鉄に乗ったり、歩いたり、大いに一日観光を楽しみました。二十四日はいよいよシェフィールドのイギリス指圧協会主催の一日指圧セミナーの日です。朝六時にホテルを出発してセント・

パンクラス駅から午前七時発のシェフィールド行きに乗ります。二時間三十分でシェフィールドに到着、駅にイギリス指圧協会会長バーナード・ノーラン先生ご夫妻が迎えにいられて居り、皆で会場のシェフィールド大学へ直行します。午前十一時から教室で約百名の指圧グループが集まっていてその中には、スコットランド、アイルランドからの人達もいます。ノーラン先生がイギリスでは初めて浪越先生をお迎えしての指圧セミナーですと、我々を紹介された。私が指圧の発達過程について三十分位話をしてから別の会場でシェフィールドのユナイテッドフットボールクラブのチームの選手三名が下肢を痛めているというので、その三名に指圧をしながら、スポーツ障害の指圧法を説明する。すんでからチームのコーチからシンボルマークの旗をプレゼントされました。午後二時から五時迄セミナーで「背部指圧の要点」ということで我々一同が手をとって指導するので、皆、熱心に習います。リンゴの様なほつぺたをした若い女性が私の所へ来て、日本語で「指圧の心、母ごろ／＼」といったのはびっくりしました。セミナーが終って皆大喜びで大拍手がおこりました。午後六時から近くのバブルレストランで我々一同と、ノーラン先生のグループでのレセプションパーティーが盛大に開かれました。

「イヤァー」生ビールのおい

(次頁へつづく)

〔前頁よりつづく〕

しいことノパーティーが終つてから皆、各々別れて各家庭のホームステイとなり、私と孝はノーラン先生宅に泊りました。郊外で景色と空気の良いことノ久しぶりに大いにビールを飲んだので、ぐっすりと眠れました。斉藤先生は朝五時にマンチェスターに向かい、そこからトロントへ帰ります。二十五日はシェフィールドにある、ヨーロッパ最大といわれる製パン工場フレッチャーズを午前九時半から、ノーラン先生一家と我々一同で見学しました。皆、頭にネットキャップをかぶり白衣を着て見学です。



市庁舎にて市長御夫妻と懇談

案内ガールがとても親切に製造過程を説明しながら出来上がったパンを試食します。余ったパンはビニールの袋に入れてお土産です。午前十一時にノーラン先生一家と我々一同は市庁舎に行き市長を表敬訪問しました。ウイリアム・ジョーダン市長ご夫妻が我々を市長室で待つて居られ、コーヒーやティーの接待を受けました。色々と懇談しながら市長が特に日本の伝統的な医療である指圧が、イギリスにも広がっていることは大変素晴らしいことだといわれ大感激しました。シェフィールド市が生誕して今年の二月で百年になる記念すべき年だそうです。市長から記念に市のネームとマークの入ったブリーフケースをプレゼントに頂き感激のあまりでした。この後ノーラン先生一家に市内を案内され午後二時の列車で別れを惜しみながら、シェフィールドを後にしロンドンへ向いました。二十六日はいよいよ帰国の日です。ロンドンをVS九〇〇便で午後二時に出発、二十七日午前十時五十分、無事に全員成田に到着しました。

今回のツアーは、チームワークが良く、オランダ、イギリスの指圧交流を十分に果し、大成功でした。触れ合いの旅は、まだ続く。さらば友よ！同志よ！十一月にはオーストラリアのメルボルンで会いましょう！

第十回指圧国際大会

浪越徳治郎先生

米寿の祝賀会



平成四年十一月三日（文化の日）に第十回指圧国際大会（午前十時）と浪越徳治郎先生の米寿を祝う会（午後）の二大イベント

が、ホテル・ニューオータニの「芙蓉の間」と、「鶴の間」の二会場で盛大に開催されました。日本指圧専門学校、同窓会、日

本指圧協会では、予てから実行委員会（委員長 石垣惟一 同窓会会長）を組織し、この日の開催となったものです。

指圧国際大会は毎年世界各国で開かれ、今回は節目の十回目を迎えた訳で、午前十時から「芙蓉の間」で卒業生三百名が参加して開かれました。今回は特に海外の指圧代表者に特別表彰と記念品の贈呈が浪越徳治郎会長より次の各国代表者に会長ネーム入りの表彰楯と記念品が浪越徹校長の通訳と介添に立たれ手渡されました。（順不同、敬称略）

（次頁へつづく）



▲第10回指圧国際大会の各国代表



▲浪越徳治郎先生「米寿を祝う会」の会場全景

〔前頁よりつづく〕

ハワイ愛泉指圧学校校長
因泥文彦

オランダ指圧学校校長
デニス・ビンクス

イタリア指圧学校校長
ルーディ・パロンビニ

カナダ指圧アカデミー校長
斉藤健泉

台湾・浪越指圧研究センター
代表 陳 美玉

国内関係者＝海外大会参加者
延べ四一四名、内三回以上参加
の五一名に参加表彰状
特別表彰者＝井尾 栄（毎回
大会の横断幕の自主作成）
船田弘子（身体のハンディ
にも拘らず全回参加）

記念講演として浪越徹校長が
日本語と英語で一人二役のスピー
チにより指圧は今や世界共通の
もので東洋、西洋の別隔はなく
万国共有の医療であり即ちユニ
バーサル医学といつて良いでしょ
うと指圧国際大会と、米寿の祝
いの雰囲気をつくミックスし
て明るいムードで短時間ながら
効果的に終了しました。

米寿を祝う会は「鶴の間」に
ぎっしりのテーブル席で一千名
の方が参加しました。定刻正午
大相撲の威勢の良い呼び出し拍
子木が響きわたり、いよ／＼開
場となり目前に広がる一千名の
テーブル席が見る／＼内に参加
者でうまってしまうその壮観は
まさに圧倒されんばかりです。

はるばる外国からはイタリア
のパロンビニ先生ご夫妻、オ
ランダのビンクス先生ご夫妻、
ハワイの因泥先生ご夫妻、カナ
ダの斉藤健泉先生、台湾の陳
美玉先生が出席されました。

米寿を祝う会の発起人代表を
お引き受け下さった現文部大臣
の鳩山邦夫先生も、文化の日、
文化勲章授与の大切な公務の合
間を縫って駆けつけて頂き親愛
溢れる祝辞をお述べ頂きました。

渡米中の元郵政大臣の深谷隆司
先生から通かワシントンよりの
祝電がご披露されました。

次いで東京都知事、鈴木俊一
先生（加藤隆一郎議代読）、遠
藤正則文京区長、業界代表とし
て、日本手技療法学会会長岸沢
勝助先生のご祝辞が述べられま
した。

乾杯の音頭は佐渡ヶ嶽親方が
発声するという多士済々振りで
業界、官界、角界に迄及ぶ浪越
徳治郎先生の人柄と指圧の交流
を通じた広い人脈関係を浮き彫
りにしていました。



ご挨拶

同窓会会長

石垣 惟一

日本指圧専門学校同窓会
平成四年度 通常総会

平成四年度通常総会の石垣会長

母校、浪越学園、日本指圧専
門学校も歳月を経て21世紀に向っ
ての再開発工事も完了し、五十
周年記念行事も終了しました。

私事平成二年に山内前会長の後
を継ぎ、推されて会長の重責を
背負うことになり、微力を捧げ
て参りました。お約束の一期も
終了するに当たり、顧みますとこ
の間特記することもなく、同窓
会を背負う責務をひし／＼と感
ずると共に陰になり日向になつ
てご指導、ご支援を賜った各位
に心から感謝いたしております。

今や社会は宇宙開発の時代と
さえいわれているにもかかわらず
、地球上は混濁した世相を示
し、あまねく心ある人達の危惧
するところではないでしょうか。

浪越徳治郎先生の信念である
「母心」とは現代を指さし、現
代が求めているものと思われま
す。

今後共この「母心」を基盤と
した建学の精神が21世紀に向け
心の文化に、いかに寄与し貢献
されるべきか、そして浪越学園
の不滅の発展を期すべく、同窓
会も役員を主軸として各位のお
力添えにより学園の将来に資す
べく一層の努力を重ねて行くこ
とと切望し、組織の確立に活動
にご支援、ご協力をお願いして

やみません。
扱て今年度は何をにおいても先
ず理事長浪越徳治郎先生の米寿
のお祝いでした。

11月3日（文化の日）先生は
めでたく八十八歳をお迎えにな
り、ホテルニューオータニに於
いて「お祝いの会」が盛大に挙
行されました。学校、同窓会、
指圧協会では実行委員会（委員
長、石垣惟一）を組織し運営に
当りました。

尚、当日は午前中に第十回指
圧国際大会が開かれ、世界各国
代表が参加、国内では北は北海
道より南は九州と全国各地より
約一千名の参加ですばらしい
「米寿を祝う会」にふさわしい
ものでありました。

先生は今なお矍鑠として公務
に、テレビ出演に、講演等々ご
活躍中です。益々ご健勝を祈念
いたしております。

なお私事で恐縮ですが8月20
日「傘寿の祝」を浪越徳治郎先
生の肝入りで同窓会有志により、
市ヶ谷アルカディアに於いて開
催していただきその際には大変
お世話に相成り有難く厚く御礼
申し上げます。

学校も去る二月末、第一回国
家試験も終了し優秀な成績を納
めることが出来た皆様方に敬意
を表すると共に心から祝福する
ものであります。
新入会員を含め、同窓会会員
のご健勝を祈りつつ…。

日本指圧専門学校

同窓会通常総会

日本指圧専門学校同窓会の平成四年度通常総会、講演・懇親会が六月十四日(日)茗溪会館で開催された。参加者は準会員で在校生代表十九名を含め、一二三名。定刻一時、司会は同窓会副会長田代和平氏(20期)、厳かに本年度会員物故者十四名の氏名が読み上げられ一分間の黙祷が捧げられたのち、第一部総会が開幕した。

開会の辞(31期山下茂幸副会長) 君が代斉唱、石垣惟一会長、浪越徹名誉会長から挨拶、田村鉦二先生の来賓代表の挨拶、つづいて議長団選出、「本部一任」の声、鈴木孝夫(3期)、小林彦太郎(15期)、佐藤玄洋(19期)氏が選出された。議長席に着席して、三氏から簡単な挨拶があり議事に入った。

①平成三年度事業報告(藤井正弘幹事長、8期)、②同会計決算報告(青木 宏会計、19期)、③同監査報告(小川 清、25期、山田 滋、24期、監査)、④平成四年度事業計画案(藤井正弘幹事長)、⑤同予算案が全員拍手で承認採決された。

本年度事業では 一、十一月三日、ホテルニューオータニでの浪越徳治郎先生の米寿の祝いへの参加と協賛が全

員の賛同を得ました。

二、法律の改正で修業年限が三年制度になるため、母校の大改造に対し同窓会では協賛金の中から二百万円を寄付金として拠出することが昨年の運営委員会で承認されたことを報告され、本年度事業の一環として支出することが総会で承認された。石垣会長から丁寧な謝辞が会員に述べられ議事を終了。小林副幹事長から閉会の辞が述べられ、一部総会は定刻の一時四十分終了した。

尚同窓会会長でもあり日本指圧専門学校副校長の石垣惟一先



▶懇親会の全景

生は今年満八十歳の誕生日を迎えられますが、小林先生から、閉会の辞に先立ち「石垣惟一先生傘寿祝賀会について」、八月二十日(木)午後六時より、アルカディア市ヶ谷に於いて開催される旨披露された。

記念講演は一時五十分から、日本指圧専門学校講師・筑波技術短大鍼灸学科白木幸一先生の「理療、臨床の実際」姿勢と手技療法について講演された。講演内容は会報六頁に掲載されてますので熟読されたい。

さて第二部の懇親会は、木下誠(18期)先生の司会で二時三十分から開かれ、佐藤岩治郎先生(日本指圧協会副会長、専務理事)の音頭で乾杯、祝宴に入る。この期遅しと待っていた芸達者な会員は、ステージに上がり、スポットライトを浴びるが如し、顔も桜色になり、日頃鍛えた喉で、歌う様は玄人も顔まけ、招待された在校生もこのムードに溶け込み和気あいあいの内に時間は過ぎた。最後に校歌「指圧讃歌」を全員で合唱、お互い健康で又の再会を楽しみに！四時に終了した。尚浪越徳治郎先生は、第四期生の親睦旅行出席の為、今回は欠席されました。

協賛金賛助者ご芳名

◇平成四年度賛助金総額

(平成四年三月十八日〜九月十八日)

一一〇件 四五四、八〇〇円

◇累計

昭和六十年〜平成三年度

八二七件 三、〇九二、三三〇円

合計九三七件 三、五四七、二二〇円

(郵便手数料七九、六九〇円)

◇平成四年度協賛金賛助者ご芳名

(敬称略、順不同)

ご芳名掲載をもってご協賛の御礼と領収の証とさせていただきます。○数字は卒業期。

◎二万五千円 藤本寛山⑩

◎二万円 井尾 栄②

◎一万円 嘉義了久⑩、小峯敏夫⑩、小山福松⑩、山岡祥宏・島田武一郎⑩、井上征夫・田代和平・林なお、高野助二⑩、横尾益夫・田島市五郎⑩

◎八千円 水岡道三・伊藤十三⑦

◎六千円 桜井玲子③、池永卓雄⑨

◎五千円 増田清一①、稲場啓護・津野田信子③、石原博・山川友江・根岸とき枝④、福沢司津江⑤、石垣惟一⑥、工藤ての⑩、柳沢光男⑩、田端哲郎⑩、笹木喜太郎・国田イト子・山中武⑩、齊藤良知⑩、小畑実⑩、片岡弘昌・小川久子⑩、西千鶴子⑩、高橋福美・野末慧八⑩、沢畑碩亮・二階堂静夫⑩、川原善次郎⑩、石川明子⑩

◎四千円 木村高宣⑩

◎三千円 松本一雄⑩、大谷信子⑦、赤沢エイ・大島秋子⑧、前川磯文・野口幸子⑩、山内貞四郎⑩、真間時男⑩、若杉ミイ⑩、舟島正八⑩、小原俊政・小美野隆・川本博子・伊藤信一・荒川シヅ⑩、渡辺あき子⑩、岩崎幾男⑩、関森昭道⑩、萩原誠⑩

◎二千八百円 一色義勝⑩

◎二千円 川上春治・相澤君江・石原雪江・持木光子・辰馬寛代①、佐藤岩治郎・齊藤嘉子⑥、藤井正弘・藤井トシ子⑧、高野正之⑩、細谷節子⑩、小林彦太郎・佐藤肇⑩、池永定雄・三宅華人⑩、佐藤一雄⑩、青木豊・高田とし子・小出等⑩、嘉藤常太郎⑩、加藤保⑩、柴崎聖子・徳永勇次郎・山田滋⑩、古谷真人・阿部保司・林五郎⑩、加藤一・松永哲夫⑩、財部千穂子・宮田経子・山崎正比呂・福安志泰⑩、山下茂幸・西井一志⑩

◎一千円 鈴木林三⑧、島崎文三郎⑩、中島准蔵⑩、三好英子・大島喜一⑩、青柳勇・渡辺静江⑩、宇田川隆博⑩、吉田和弘・石神隆三⑩、松岡遼子・中島好亜希⑩(幹事長 藤井正弘記)

※紙面の都合に依り、総会の受付での協賛者の御芳名を掲載出来ませんでした。お詫言います。

日本指圧専門学校 同窓会 平成五年度

会 親 懇 会 常 通

左記により同窓会総会並びに懇親会を開催いたしますのでご出席下さいますようご案内いたします。

日本指圧専門学校同窓会会長 石垣 惟一

一、とき 平成五年六月十三日(日)

一、ところ 茗溪会館

(電話三・三九四三・〇三二二)

(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅歩二分)

一、内容 総会(一二・三〇一・二〇〇)

記念講演(一・三〇二・二〇〇)

「指圧の心母心、おせば生命の泉湧く」の解剖・生理学的意義

徳島大学歯学部助教 医学博士 石塚 寛 先生

懇親会(二・三〇四・四〇〇)

一、会費 八、〇〇〇円(当日可)

一、申込 同封の郵便払込用紙で会費を前納して頂きますと受付事務混雑が防げますのでご協力をお願い致します。出欠はがき六月七日必着でお願いします。

同窓会の講演要旨

理療臨床の実際 “姿勢と手技療法”



筑波技術短期大学
鍼灸学科助教授

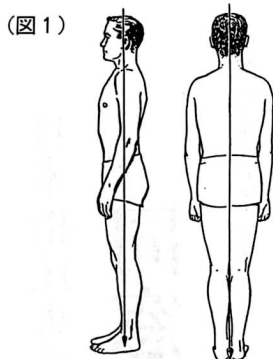
日本指圧専門
学校講師 白木 幸一

1、はじめに

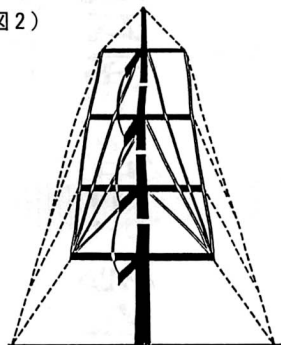
あん摩、マッサージ、指圧を中心とした手技療法は肩凝りや腰痛のようにな不良姿勢が原因となつて生じる体性系の症状・疾患が主な治療対象となつてゐる。従つて患者の診察と治療に当たっては常に姿勢を含めた全身の観察が必要である。

2、身体のアラインメントについて

アラインメント (alignment) とは身体各部の配列のことである。人体はひと固まりの物体ではなく、両足底とこれにはさまれた狭い支持面の上に各部、各節が下から上にバラ



(図 2)



ンスよく積み重ねられた形で構成されている。これを抗重力筋と呼ばれて一連の筋群が働き、重力に打ち勝つて身体を直立位に保っている。

良い姿勢とはバランスのとれた正しいアラインメントが保たれ、抗重力筋にかかる負担の少ない姿勢を意味している (図1)。

まっすぐ伸びた下肢により、土台となる骨盤が少し前傾した形で支えられている。その上にゆるやかなS字状にカーブした脊柱が立ち、上端には頭を乗せている。また胸部は上肢帯を介して自由上肢を懸垂している。骨盤の上に立つ脊柱とその筋は帆船の帆柱に例えられる (図2)。筋の負担を軽減し、各部の可動性を

十分に維持するためには身体の前・後・左右の筋のバランスが大切である。

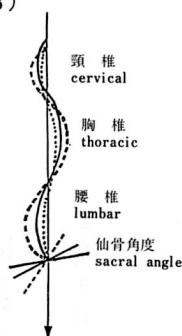
3、不良姿勢と肩凝り、腰痛

身体はどこか一部に異常が生じ、正しいアラインメントが崩れバランスを失うと、全身的な反応によって新たなバランスを獲得する。しかし、この時の姿勢は正しいアラインメントを失っている。

腹部に脂肪が蓄積し、腹筋が引き伸ばされて筋力の低下を来すと骨盤の前傾が強くなる。そうすると腰椎の前弯が増強する (腰椎・骨盤リズム) (図3)。腸腰筋は短縮し股関節は屈曲位となる。背筋は短縮し脊柱は可動性を失う。更に膝や足関節にも影響を及ぼす。こうして発生するのが「いわゆる腰痛症」である。

また頭部や肩が前方に落ち込み、いわゆる背を丸くした姿勢は浅背筋群に過度のストレスを与え、頸肩背部の凝りを生じる。この部でのアラインメントの崩れは前述の腰椎と骨盤、膝や足関節にも当然影響が及ぶ。このように習慣性の不良姿勢や筋力低下によるアラインメントの崩れは頸、肩、腰、膝に障害を引き起こすのである。昔から「膝を痛めると腰が悪くなる」とか、「腰痛がある」と肩凝りを起こす」と言われてきたが、まさにその通りである。

(図 3)



講演会場



4、正しいアラインメントを回復させるための手技療法

まず姿勢の観察が大切である。図1に示した正しいアラインメントが崩れ、頭と肩が前にズレて位置していないか、脂肪がつき腹が前に出てきて腰の凹みが深くなっているか、膝が少し曲がっていないか等をよく観察する。

次に背臥位で一方の股膝を曲げて胸に固定し、他方の下肢を伸ばして股関節屈曲の状態を診るトーマステスト、膝を伸ばしたまま下肢を挙上しその状態を診るSLRテスト、腹臥位で膝を曲げ殿部が持ち上がる状態を観察するテスト等を行い、それ

ぞれ腸腰筋、ハムストリングス、大腿直筋の短縮の有無を診察する。

肩凝り、腰痛、膝痛は不良姿勢と筋力の低下から生じてくる。手技療法の臨床で大切なことは局所のみにとらわれず、また漫然と全身の施術を行うのではなく、愁訴の原因を突きとめ、かつこれから派生する症状を正しく把握することである。

治療に用いるテクニックは筋の過緊張や疼痛除去のための手技 (あん摩、マッサージ、指圧)、短縮筋を引き伸ばし正しいアラインメントを回復させるための手技 (矯正法、ストレッチ)、そして筋力を強化させる手技 (抵抗運動法) の3種類がある。

筋の過緊張や疼痛除去の施術は浅い大きい筋肉のみでなく、深部にあり脊柱の固定に働く小さい筋や棘突起に付く靱帯に対する施術も必要である。特に頸部や脊柱の靱帯、深部の小筋への施術は指圧法が最も適している。この施術の次にストレッチや抵抗運動法を行う。ストレッチは関節の運動軸と運動の起こる面、2関節筋等に十分注意すること、また患者に強い苦痛を与えないよう矯正する力に十分気をつけることが大切である。筋力強化も加える抵抗の大きさに注意し、治療後に疲労感や痛みを残してはならない。

5、おわりに

東洋療法である我々の手技療法は、前後・左右・上下のバランスを調整しながら治療を進めて行く。これは常に全身を観察する伝統医学である反面、最も新しい考え方立つ医学であるとも言える。深い知識と高い技術の修得に一層努力しなければならない。

雑 感



第21期生

片岡 弘昌

組織の運営も「母心」で

「人ひと」という文字は、「ノ」と「ハ」によって形象されているように、二人のひとが寄り添い合っているか、支えあうことによって成り立っている。丁度それは「親子」の関係であり「施政者と大衆」にあっても同様である。もしその均衡が崩れた時には親子の断絶となり、後者にあつては圧政となり暴動を惹起しかねないことになる。

「一人では生きていけない」とは小学校の子供でも知っている。しかも一人で出来ない事も協力し合えば可能となる。それ故に、ひとは集団をつくり組織化する。それは人間の知恵である。

私は一人っ子として生まれ育ち、N大学に奉職した。教育事業こそ私にとって聖職として一生を託すに相応しい事と信じ十五年の歳月を捧げて来た。しかし私の清らかな？心根は、かの

の「母心」の教えに洗心され、指圧学校同窓会の役員はお引き受けしたが、利害が絡む業者の組織である協会の役員だけはいまだに受けかねている。

世はまさに末期の様相にある。佐川事件に象徴される政治家の汚職、靈感商法にみる宗教家の悪徳等など、本来先達として大衆を善導すべき立場にある人達ではないか。又かつて「ペンは剣よりも強し」とか「無冠の帝王」といわれた正義の士である筈のマスコミさえが、そのような悪行に手をこまねいているていたらくでは落ちる所迄落ちなければの感一人である。

有機的な働きをする集団である。夫婦二人、親子兄弟が形作る一つの家―家庭にはじまり趣味を同じくする同好会、利害を共にする業界、更に人間の共同生活体である社会―国家、更には地球規模の国連と仕組みの大小こそあれそこに占められる要素はより良くしよう、なりたいたい願望を達したいという事だ。そのため手段を誤ると取り返しのならない事態をも引き起こす事になる。

ここで私は声を大にして言いたい。組織の指導者は「母心」をもって組織の運営に処せよ、と。

(同窓会副会長)

自信

第19期生

佐藤 玄祥

医師会の雑誌で、横浜のN医師が、「自信喪失」と題して患者と指圧の話が載っていた。実名での投稿。

進行癌が生検でも肉眼的にも完全に証明されていた46歳の女性、再三の手術（肺結核、子宮筋腫等）のトラブルで、乳癌の手術を拒否。病院への紹介状も使わずN氏の顔を去って行った。

五年後、人混みの中で以前と変らぬ元気な声の彼女を見たN氏の驚きは……一瞬あの時は誤診だったのか？、癌の治療は、

現在最高の手段として「手術」を否定出来ないが、彼女は民間療法を選んだとの事。それは「指圧治療」だった。例え拡大根治術が成功しても完治の保証のない末期の進行癌患者が、現在ピン／＼しているケースに出会うと、医師として自分が自信を持って進める治療法がどれだけあるのかと不安になる。まさに「自信喪失」と結んでいる。

先日、名古屋の第四回手技療法学会で、日本指圧協会愛知県支部長、米津智夫氏（12期）の実技と講演で、腹部指圧の重要性、特に肝臓に対する指圧と、アトピー性皮膚炎に対する指圧治療を述べられていた。指圧による完治の事実と科学的な立証が未解決といわれていたが、「指圧治療」こそ理屈抜きで治

るといふ自信をもって欲しいと結ばれた。

二つの事実は、私共「指圧治療」に携わっている者にとって、大いに自信をもってゆける事を示唆している。過信が慢心にならないよう、常に原点に戻り、浪越指圧の基本に忠実な治療を展開してゆけば、医師として「自信喪失」と嘆かしめる実績を挙げる事が出来る。大いに自信をもって治療に専念しようではないか。（日本指圧協会理事事

臨床に携わる心構え

「痛みについて」

第13期生

佐々木重雄

腰痛について述べて見よう。腰痛は以前40歳前後に多い症状なので40歳と云われていたようだが、ところが最近が高齢化が進むにつれ、80代、70代の腰痛の患者さんも少なくない。

又逆に30代、20代、時には高校生も腰痛を訴えて指圧治療を受ける場合が非常に多い。

高齢者は別として、若い世代の腰痛は何が原因であろうか？私の少年時代と違い今日の生活環境、食生活の違い、ストレス等によるものだろうと片づけて良いものでしょうか……？

一般的にはギックリ腰、或いは腰痛ですぐに指圧で治りますか？と電話での問い合わせが非常に多いのです。私共指圧師はどう答えるべきでしょうか？指圧治療で殆ど快方する場合が多いと思います。又電話で応答する場合も、これらの症状であろうと思っ

て軽はずみに答える場合が多いのではないのでしょうか？

通用語と思われるギックリ腰実は大変な病気が潜んでいる場合が多々あります。ですからギックリ腰、腰痛を訴えて見える患者さんは内臓疾患を念頭に入れて対処するべきでしょう。

① 先ず問診は必要以上と思われる程するべきでしょう。

② 痛みの患部は必ず皮膚を直接に視るべきでしょう。

③ 骨の変形、皮膚の色、筋の緊張度合、痛みの部位、痛みの程度等などの確認は決して怠ってはならない。

私の治療例で申して見ますと腰痛を訴えて見えます患者さんの中には、胃腸障害が圧倒的に多い。又肝臓、脾臓、腎臓、子宮、卵巣、前立腺などの疾病や腫瘍、膿腫、腎臓結石や遊走腎、胆石の場合もある。

又決して見のがせないのが骨粗鬆症や、癌の転移による骨髄癌（女性の場合は子宮筋腫を疑った方がよいと思われまふ）。このように内臓の反射痛（関連痛ともいう）によって起る腰痛も決して少なくない。

主に癌が脊椎に転移しやすいものを参考迄に列記して見ます。

(次ページへつづく)

同期会だより

第六回日本指圧専門学校四期の会

十和田湖、奥入瀬

猿倉温泉一泊の旅

六月十三日上野発二十三時寝台夜行列車青森行きに浪越理事長先生と外十名夜行寝台は生まれて初めてと云う方もそれぞれの席で横になり、六月十四日朝八時十五分青森駅にホームには古跡先生のおむかえを受けマイ



▶十和田湖奥入瀬の旅

クロバスにて古跡先生の御自宅と治療室のあるお部屋で温かい御飯と沢山の山菜の入ったお味噌汁と山の幸、ほたて貝のおさしみ海の幸、夜行列車の疲れも取れ、奥様に心より感謝し全員で記念写真を撮り十和田湖へとバスに乗り、途中純金一億円の金の「こけし」ガラスの津軽びいどろ展を見学。滝ノ澤峠、御鼻部山と新緑の美しい山、蟬の声、ブナ林、谷ウツ木とドライバーのハンドルさばきに、歓声をあげ、目の前の薄霧けぶる神秘的十和田湖子ノ口の食堂で昼食キリタンポに舌つづみを打ち、昼尚暗き幽粋な奥入瀬暖流、九段の滝、銚子の大滝驚の啼く声と残雪がくりひろげる大自然の見事なデューエット。都会で暮す者の清涼剤。南八甲田連峰のしなびた山の中の一軒宿に着き温泉につかり夜食前に富山より山川先生が着き出席者全員集合。石原先生の司会、岡安先生の開会の挨拶、古跡先生の乾杯と宴に入り、貝塚先生のさんさしぐ

れ、岡安先生の東京の花売娘特別参加下さいました藤田和子先生の風林火山、浪越先生の日本海海戦天気晴朗にして波高しとお元氣のお声を聞き一同いっまでも御元氣でと思う心は一つです。閉会の挨拶を瓦先生にそして二次会に一時はげしい雷と雨も静かになり時のたつのも忘れ話に花が咲きました。朝九時宿を出て夜半の雨もすっかりやみぬける様な青空としっかりと濡れた青葉に心も軽くバスに、すいれん沼に猿倉連峰と八甲田山雪中行軍遭難の地白樺の並木路をぬけ、むらさきのおだまきの

花の可憐に咲く所、記念銅像前にて二百余名の遭難者に手を合せ冥福を祈る。ねぶたの里の揺れ動く大型ねぶたの豪華華麗日本火祭りを遊び心を充分満足し馬車に乗り出口に、中食は「つがるわら家」で手造りうどんを水の流れる水車、浪越先生は歓迎され色紙にサインを先生の高名に一同鼻高々、一路青森駅に途中物産店で買物。駅に着き盛岡で新幹線で上野駅で浪越先生にお別れし、次回は平成五年に四期会を約し解散しました。青森の古跡先生いろいろ御配慮ありがとうございました。浪越先生温かいお心づかい藤田先生特別参加ありがとうございます御座いました。福島菊地様いつも温かい御寄付を頂き世話人一同心より御礼申し上げます。

それ、岡安先生の東京の花売娘特別参加下さいました藤田和子先生の風林火山、浪越先生の日本海海戦天気晴朗にして波高しとお元氣のお声を聞き一同いっまでも御元氣でと思う心は一つです。閉会の挨拶を瓦先生にそして二次会に一時はげしい雷と雨も静かになり時のたつのも忘れ話に花が咲きました。朝九時宿を出て夜半の雨もすっかりやみぬける様な青空としっかりと濡れた青葉に心も軽くバスに、すいれん沼に猿倉連峰と八甲田山雪中行軍遭難の地白樺の並木路をぬけ、むらさきのおだまきの

「前ページよりつづく」

①乳癌—35.5%、肺癌—25%、胃癌、子宮癌、前立腺癌—5.6%と発表されている。

しかし最近では診断に使われる精密機械の進歩はめざましいものがあります。

これらの疾患の診断も骨シンチグラム（アイソトープ検査）や、磁気共鳴画像（MRI）等による検索で早期発見が出来るようになったようです。私もこれらの疾患の疑いを持つ患者さんを医師の診断によって確認し

十和田湖を遙か見下す展望台

見上ぐ狭間に鳴く蟬の声

八甲田雪形残し 陽を受けて

きよらに流れ 水芭蕉咲く

霽晴れし六月の森 静かなり

湯煙り立ちて 鶯の啼く

永山琶奈子作

せせらぎの聞こゆる土手より流れ行く新緑に染まる川面を眺む山峡のいで湯の山に風立ちて青き北空残雪の浮く

楚楚と咲くニッコウキスゲ美しき 沼に咲きたる水芭蕉よりも

根岸とき枝作



世話人
石原 博司 古跡健次郎
永山琶奈子 根岸とき枝

て指圧治療をして居ります。確認した上で治療しますと患者さんは勿論ですが、治療師も安心して治療出来るものです。例えば腎臓結石の場合は持続強圧した方が、結石は排出され易いが、遊走腎の場合は掌圧（ソフトタッチ）の方が良いようです。

体験の症例
ギックリ腰の訴え

腰椎の横突、皮膚が褐色、頸椎異常、頸部リンパ異常、血液検査異常なし、喫煙一日20本、30本、朝の痰、咳なしの事。後日胸部レントゲン撮影、痰

の検査、結果は肺癌と診断される。腰の痛みは転移によるもの。この患者さんは十日位で亡くなられた。ちなみにこの方は私が日常指圧治療をしている病院の院長先生の知人（当院の事務長でした。このように単なるギックリ腰を訴えてみえる患者さんでも、実は大変な病気が潜んでいることを念頭に入れて慎重に対処しなければいけないと思います。

（日本指圧協会理事）

「錦絵会」北陸の旅

第24期A組

山田 滋

平成四年五月二十二日午前十一時小松空港に着く、現地幹事の西、伊藤の両氏がにこやかに迎えてくれて握手又握手でした。福鉄観光のデラックスバスの豪華なシャンドリヤまでもキラキラと迎えてエンジン快調。右手に広がる橋立湾から蓮如の里を過ぎる頃は延々と続く西瓜のピニール畑で芦原温泉も近いし、越前岬が見え隠れしている。

「北陸の海は何時も灰色」と聞いていたのに何と「青い日本海」でした。

世界に三つしかない柱状玄武岩輝石安山岩の国立公園「東尋坊」は流石に天然記念物、切り立つ奇巖類々の海面を見れば高所恐怖症で無い私も引き込まれ

そうで尻込みする。シベリアから吹いて来る風も加わって髪の毛は乱れスカートも容赦なく捲くり揚げマリリンモンローも「キャー」徳治郎先生でなくちゃダメ」と呼んだとか？

九頭竜川を渡り花ラッキョウ畑の続く里を過ぎると奇岩の限りなく続く屈折の多い越前海岸「水仙ロード」です。

「呼鳥門」では越前有情の曲が流れ旅の心を和ませてくれる。十万坪の境内に樹齢六百年の老杉に囲まれ寛元二年道元禪師によって開かれた参禅道場「永平寺」が初日の宿でした。

参禅すると厳しい規律と制約がありかつての軍隊生活にも勝るものがありました。廊下、浴室、食事場を三點の場としてお互の会話を私語も一切禁止は三十分程の座禅と共に苦勞しました。

（次ページへつづく）

同期会だより

「徳美会」

第19期Bクラス
佐藤 玄祥

氏が来会された。佐藤幹事の司会で、浪越先生、石垣先生のご挨拶後、大島氏（最長老）の乾杯、池永幹事の会計報告後、各々自己紹介と近況報告。会食しながら演芸に入った。

平成五年二月十一日（祭）、後楽園涵徳亭に於いて十二時三十分より恩師浪越徳治郎先生、石垣唯一同窓会会長、藤田和子氏を迎え、六年ぶりのクラス会開催となった。学校創立記念日の良き日、好天に恵まれ、庭園散策後涵徳亭に十六名、遠く明石市から大島氏、栃木から天海氏、熊谷から病軀をおして梅山



▶「徳美会」涵徳亭にて



▶9期会・丸井先生を囲んで

もあり、健康に留意する様お互いに気遣い、再会を約し、指圧讃歌を合唱して散会した。二次会はカラオケルームで夕刻迄旧交を温めた。

出席者

天海、石井、梅山、植松、大島、岡田（茂）、小川、田中（敏）、千葉、中里、中村、花輪、比留間、三好、幹事池永、佐藤（玄）、以上十六名（佐藤玄祥記）

卒業25周年を を記念して

第9期会
四篠 静江

私達第九期の同期会が昨年の四月十二日、熱海の熱海ホテルで二十五周年を記念し迎える事が出来た。

幹事は丸井孝夫先生と、倉島美喜子先生の二人でした。出席者は十六名、遠くは長野、茨城から、年月は経ても二十五年前のご様子とは少しも変わってませんでした。只々想い出されるのは丸井先生の在りし日のお姿、先生は昨年五月十八日ご逝去されたこと、誰よりもクラスの事、クラスメートの事を心配して下さっていた先生の突然の死に驚愕致しました。今更ながら残念でなりません。でも先生のご息が今年三月無事母校を卒業し、先生のご遺志を継いで指圧道の為に精進して行かれる事でしょから、それが何よりの先生への供養になり、私の心もやすらぐ思いです。

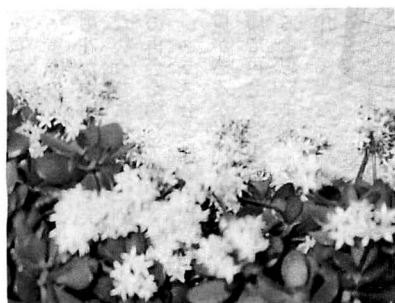
「前ページよりつづく」

午前三時が起床時間で薄暗い廊下を進み階段を登ること十分法堂に整列して副貫首様の一時間に亘る法話も有難く拝聴の後、雲水僧の説明で各建物を見学、寒さに震えながらも開祖様の苦勞と修業の跡が偲ばれる。

全山の朝のお勤めに同席を許され一糸乱れず運ばれる儀式と読経に目を見張り、之が修業の最高峰と頭が下がりました。

二日目は伝統工芸の「ゆのくにの森」で様々な郷土工芸を見学してから千里浜海岸の砂浜ドライブで橋の無い川を渡ること五つ、時には流水に掘られたため進路変更もあったが珍しい道

クラスの皆様元氣な時に集まって、色々な事を語り、楽しましよう。最後に紙面をもって丸井先生のご冥福をお祈りし、クラスメートとの再会を期待してペンを書きます。
在りし日の丸井先生（同期会から）



▶四篠家の幸せを呼ぶ花

の無い砂の上の八軒の道であった。車中での同志の語る永平寺の一夜の感想と治療体験の発表は夫々に高僧の語る説法の如く身に沁みる程参考になりました。輪島「米久」の宿は昨夜の難行苦行を一挙に吹き飛ばしたいのか極度の盛り上がりようだ。

その他続々と歌の上手下手など関係なし、中居さん迄興に乗り之に加わり、歌あり踊りあり、あげくに抱き上げ太鼓叩いて六時から九時迄延々、その間幹事の西さんのビデオカメラは廻り放しの活躍でした。呑みも飲んだり此の夜の酒代八万円也でした。

（以下省略）
浅岡の横浜ブルースで幕開け、渡辺夫人↓命の絆、滝の白糸、竹内↓兄弟仁義、村井↓人生いろいろ、板谷↓川は流れる、ナベさん↓君恋し……と奥さんにウインク、伊藤↓思案橋ブルース、田村夫妻↓東京ナイトクラブ、道づれ、中道↓雪国、西夫人↓乱れ太鼓の連打、太田↓骨まで愛して、伊藤夫妻↓居酒屋

途中割愛しても紙面オーバーで、東京の忘年会の報告は出来ませんが現地幹事の西、伊藤夫妻の長期に亘る苦勞と福祉観光、角方さんのご協力に対し、二十九名の参加者に代り、紙面をもって厚くお礼を申し上げると共に益々のご発展をお祈り致します。

イコーカイ 十五会便り!!

第十五期生
小林彦太郎

桜も満開近し、指圧校を卒業して早20年、当時17才で学校一若かったA子さんも37才の女盛り、一番年上だった75才のD氏は亡くなられましたが、お元気で居られれば95才、小生も今年満73才、指圧のおかげで心身共に50才？皆様は何才になられましたか、お便りお待ちしております。

九州の南淳さん5月23日に（脳梗塞）千葉の久保清則さんは12月3日（心臓病）で亡くなられました。心よりご冥福をお祈りいたします。

一昨年だと思いますが藤原健一、佐野君江両先生が幹事役にて活躍いただき、伊豆半島一周二泊三日の旅行を大変たのしく過ごさせて頂きました。
其の後四、五名の方からお便り頂き、十五会の旅行計画を依頼されて居りますが、前文では大変若々しく記しましたが、寄る年波が、協会、支部、町内会そして昨年は範師会代表を引き受け、「他人には与えなければ、自分にもあたらない」の諺に従順になるつもりでも思う様には進みません。

どうぞどなたか計画を立てて下さい。会員への通知、其の他の事務はこちらでいたします。よろしく願ひいたします。

以上

同期会だより

10年ぶりの同級会

第24期C組

高野 昇司

平成四年四月二十九日（みどりの日）第24期生（専門学校第一期）C組の同級会が卒業以来初めて十年ぶりに開催された。

当日は東武浅草駅に集合、一年生時の担任小林秋朝先生も一緒に足利市駅へ、現地の級友と合流し会場へ直行した。はじめはミーティング、既に冥府の人となられた木下新一氏の冥福

を祈って全員で黙祷し、次いで各人の現況報告、欠席者の近況を知らせし話し合い出話しに華が咲いた。以降場所をスナック「ボルガ」に移し、飲んで、食べて、カラオケで美声を競い時間過ぎるのも忘れ、翌年の「みどり」の日に再会を約して散会をした。

出席者

岡本草苑子、清原弘、胡桃愛子、高見博則、武田忠義、玉木茂雄、高野昇司、西田幸男、熊沢美代子、前田秀雄、向井剛、森栄治、吉沢孝



▶担任の小林先生を囲んで



▶金比羅山の前で

平成四年度 茜会便り 第24期B組 馬場今朝美

秋!! 紅葉の美しい平成四年

十月二十七日から二泊三日で第十二回茜会のクラス会を、岡山、倉敷で開きました。元氣なお顔の友人が岡山駅に集合し、一泊目は一年振りにお逢いしたお友達との話しに花が咲き、短い一夜で朝を迎えました。

二日目は用意されたマイクロバスで四国の金比羅山に向いました。車中眺める風景は四国ならではの珍しい丸い山々が連なっていました。オワンを逆にした様な丸い山は、本当にオッパイを思わせる風情でした。一寸足の調子の悪い人が二人いましたので金比羅山に登るのが心配でしたが何の苦もなく頂上迄約千百段を登りつめ全員で記念写真を撮りました。

四国を後に倉敷に到着!! 夢に迄見た大原美術館の世界の名画には、只々溜息が出るばかりでした。もう一度ゆっくり鑑賞したいものと思いました。街を散策して二泊目の旅館に入り、この夜は一日の疲れを取り合う指圧をしたり、一年間の経験とか、苦しかった事などのお話をし合っ、それぞれの手技交換をし合っ楽しく夜を明かしました。

三日目は広大な池田牧場と岡山城。それに竹久夢二郷土美術館を、ゆっくり眺め、昼食を最

後に岡山駅では、名残りを惜しみ乍ら、鳥取に、東京にと散って車中の人となり、おしゃべりの花が次々と咲いて笑いが止らないうちに東京駅に到着。来年の再会を約して帰宅致しました。クラス会とは人それぞれに意見があるかも知れませんが、健康で再会する事に深い意味があると思います。それに勉強会が出来るとなったら最高の会だと

思います。
幹事役だった岡本様と浜谷様色々ご苦労様でした。ありがとうございました。
平成五年十月は東北秋田の黒沢様にバトンをお渡し致しました。お願い致します。
どうぞ茜会の皆様お元気で十月にお逢い致しますよう。
平成五年三月五日（記）

学園だより

浪越学園
日本指圧専門学校

長谷川伸一君 世界を制す 空手ワールド 選手権団体型



▶長谷川三兄弟と由美夫人

空手の第十一回世界選手権大会は、平成四年十一月十九日、スペイン、グラナダで開幕、日本代表で母校の在校生長谷川伸一（34期生A組）君と、二人の兄弟（克英君、行光君）が団体型で優勝金メダルを獲得した。三兄弟で同大会を制したのは史上初めてであります。

グラナダ、スポーツ会館のメーンホールに日の丸が掲げられた時、会場から温かい声援と、拍手がチャンピオンに送られた。

「三兄弟で世界制覇が夢だった。最高の気分」と三人は目を潤ませ、又応援に駆けつけた伸一君の妻由美さんと優勝の喜びを分かち合う三兄弟、「空手の長谷川」「指圧の長谷川」は世界にはばたい。

国家試験を終えて

第34期A組 竹石 祥二

去る2月27日、新方式による

第一回目のあん摩、マッサージ、指圧師試験が行なわれました。

従来の試験に対し、全国一斉による試験形式、マークシート方式の四択客観形式、実技試験の廃止等、試験の方式が大きく変わり、又制度改正の目的が、あん摩、マッサージ、指圧師の資質の向上を図ることにあった点などから、従来よりも確実に難しくなるのではないかと予測もされておりました。そのような中、日本指圧専門学校初の「3年生」になった我々は、数度に亘る模擬試験で、その実力を遺憾なく発揮出来ず、先生方から「大丈夫か?」と心配されながら、試験日を迎えることになりました。

試験は午前の部が9時から11時までの2時間、午後の部が1時から3時までの2時間計4時間で、それぞれ75問ずつ計150問が出題されました。以下、今回の試験について簡単に総括してみます。

全体としては、いわゆる難問、奇問の類や、ひねった問題がほとんど無く、純粹に知識を問う素直な問題が目立ちました。

比較的易しい問題が多く、特に午前の問題は皆けっこう手こたえがあったようで、午後は何

「前ページよりつづく」

となくリラックスした様子が会場であがええました。

試験に向けて一生懸命勉強し、万全の状態です。試験に臨んだ方には、やや拍子抜けの感もあったのではないのでしょうか。

問題配分は、医療概論、関係法規がそれぞれ3問と少ないのが目立ちました（関係法規の内1問は、衛生学に近いものでした）。特に関係法規は、確実に得点が期待できる科目であるだけに、期待はずれでした。

皆が比較的苦手にしている東洋医学概論、経絡経穴概論、リハビリテーション医学については、決して易しくはなかったものの、要点を押さえた良問が揃っていたように感じました。経穴の問題では、百合や、委中、孔最といった有名なツボが出題されたことが、私にとっては救いでした。

約10問ほどあった東洋医学臨床論は、応用力を試す問題が並び、苦労しました。この科目に解き方のコツといったものが要求されるため、これから受験する方は、練習問題を数多くこなしていくことが必要だと思います。

事前の話では、問題用紙の持ち帰りは出来ないということだったのですが、当日の説明で持ち帰りが許され、各自自己採点が出来た結果、合格発表までの一か月間、少しは心安らかに過ごすことが出来るのではないのでしょうか（もっとも自己採点の結果

が思わしくなかった方は別ですが）。

以上思い付くままに、国家試験を終えた感想を連ねてみました。最後になりますが、わざわざ試験会場まで出向いてくださり、我々を励ましてくださった先生方にこの紙面を借りてお礼を申し上げます。そして3月30日の合格発表では、全員の笑顔が見られることを期待しています。

入学から
国試まで第34期A組
沖原 玉章

「タッタタッタ」その時、私は先を急いでいた。まるでBOD値の高い海の中を、海面に向けて。O₂不足の魚が、21%の酸素を求めるかのように。「あつ、ごめん。」「ちょっと通して」。

足元に陽の当たる場所がやっと見えた。先に試験を終えて、退席した学友の姿を求める余裕もなく、私は赤いブリキの喫煙箱にやっとたどりついた。

私は3・4ペンツピレンの心配を頭の中で隅に追いやりながら、手第一指、第二指でフロマントテストをするかのように、タバコを一本つまむ。

「ジュポッ」「フーッ」。喉頭、気管、気管支、肺胞。一服目は、αの波の脳波もて、〇〇、4%増の呼吸をゆっくりと吐く。二服目。春の陽の暖かさを、中心後回、感覚野で認識しながら、

「エーッと、光線の種類は、……」「おっと、もう終わったんだ。フーッ」。

煙と共に、詰めに詰め込んだ知識が飛んでゆく。主人の所有権も関知せず、勝手に「知識」が、抜けていくように。小春日の陽はさんさん。

三年間の通学生活が、頭をよぎる。嫌に長く感じたあの坂道。初夏には、通るごとに色あいを交える紫陽花、夏には蝉の騒がしあひの公園。馬券売場に急ぐ人達の波に逆らいながら「今日は土曜日」と気付く駅の構内。

来ないバスを、時計を気にしながら待つあのバス停。回想は更に、三年間の勉強に「何の役に立つのだろうか」と疑問の教養科目。「ヘー」とボー然、吐息の生理学。先生の早口に、自分の頭の回転が追いつけず、「自分の頭が悪すぎるのか、ボンボン進む先生の方が悪いのか」と悩んだ、溜息授業の数々。

ボーとしていたら、視界の中に、晴れ晴れとした顔、苦笑いの顔がフツと飛び込んできた。「や」と終ったな」と私。

試験二日後、こう回想しながら、ペンを進める。段々と本来の自分に立ち戻る感じがしてきた。書きながら、自分の将来の構想を展望しつつ、友人達の今後の活躍と健闘を祈りながらペンを進めた。

窓からは、弥生三月の暖かい日ざしが、原稿用紙のすぐ脇まで射ってきていた。

平成四年度
国家試験
受験科目

- 1、医療概論
- 2、衛生学
- 3、医事法規
- 4、解剖学
- 5、生理学
- 6、病理学概論
- 7、臨床医学総論
- 8、臨床医学各論
- 9、リハビリテーション医学
- 10、東洋医学概論
- 11、東洋医学臨床論
- 12、あ・ま・指・理論

計一五〇問

卒業に寄せて

第34期A組
西海 泰子

三年間の学生生活は、長いと思いつつも始まったものの、アツという間でした。こうして終ってみると、本当に夢の様です。

大勢の仲間達や先生方との出逢い。感動的だった出逢いも、チョッピリ悲しかった出逢いも数多くありました。これらの人々との様々な出逢いは、何と多くの事を私に教えてくれたことか。

そしてその一つ一つのすべてが、私にとって他に換え難い宝物となりました。この学校を卒業して社会に出て、一人の治療師として生きて行く上での、貴重な

指針となるに違いないと感じています。

日本指圧専門学校、34期生、3年制が導入されての、本校初の卒業生となりました。

まずは、熱心に心を砕いて御指導下さった先生方に、この紙上にて心からの感謝を捧げたいと思います。

人と人との間の誤解や行き違いというものは避けて通れぬのが世の常ではございますが、しかし無私の愛情、誠意というものは、例え時間はかかっても必ずや相手に伝わるものだという事。私はこの学校に入学して有難い事に、それを受ける立場として、再確認させて頂きました。

先生方、本当に三年間有難うございました。送って頂いた愛情は、皆しっかりと受けとめています。受ける側の事情として、時間のかかる者も、かからない者も様々でしょうが、それはそれ。人生の妙というものでしょう。

伝通院の桜がほぼ散り終わろうとしていた、風の強い日、バラバラと小雨の振る四月十日が、私達の入学式でした。皆がそれぞれの想いを秘めて我が校の門をくぐったことでしょうか、私には又特別の感慨がありました。

十数年間もの温室の様な専業主婦の座から足を洗い、社会に飛び出したものの、自分が何をしたらいいのか何が出来たのか皆目見当もつかず、さまよっていた時期が私にはありました。その頃知り合った方々の勧めで、私自身も次第にこの道を目ざす

様になって行ったのですが、大きな壁は資金でした。

貯金はほぼゼロ。年金も30代後半。でも、どうしても学校に入学したい。私は一人決心をして、小石川四丁目朝日新聞小石川専売所の前に立ちました（内実は、他新聞のすべてに、年齢制限があるからと、断られたあぐくの事だったのです）。

入学式から、丁度一年前の春でした。それからの一年間は毎日、自分自身の壁との闘いの連続でした。朝夕刊の配達、集金、拡張。学校に入学出来る迄は絶対にやめない、そう心に誓った一年間だったのです。

その感激の入学式から、早や三年が過ぎ去ったなんて。

悲しみを積み、喜びを重ねて、次第に育まれ、ふくらんだ私の夢、「仕事を通して、周囲の多くの人々の健康で幸福な人生のために、ささやかながら貢献出来る、自分の一生でありたい」。

今、ようやくそのスタート地点に立ったのでしよう。



浪越学園
日本指圧専門学校

学園だより

クリスマス
パーティーに参加して

第36期A組

小幡真佐子

世間では、不況だの不景気だのと言われているけど、やはり師走の東京の街は、いつもと違い人も車も速いテンポで行き交い、店頭呼び声も活気にあふれて、つい自分までもが急がされている気持ちになって落ち着かない。

平成四年も、残り少なくなつた十二月二十三日、上野の山に程近い、ライブハウス「ロリーポップ」にて、日本指圧協会青年部主催によるクリスマスパーティーが賑やかに開催されました。

クリスマスパーティーなどの華やかな場へ出ることも、思ひ出の何処かへしまい忘れて久しい事であり、パーティー券を手にして、「今更クリスマスでもないのに」と冷めた気持とは

裏腹に、いつもより少しばかり気取って出かけて行った。

会場に入ると、すでに大勢の先生や先輩が来られており、私達は、学生二年目の「若輩者」の意識もあり、少しばかり緊張しながら勝手の解らない会場の雰囲気をつかっていた。

会場の空席が埋めつくされた頃、今日のパーティーの主役、浪越孝先生の挨拶で幕を開け、徹校長先生の乾杯に続いて、生バンドの演奏が会場に響き渡り、

少しずつエンジンを上げてクリスマス会の雰囲気は盛り上がりつつ来る。思い／＼にグラスを傾ける手は止まる事を忘れてしまったかの様に、次々と空のグラスが並んでいく。食べる程に酔う程に、「緊張」も「控え目」も、そんな気持は何処かへ消えて、マイペースで廻りを引き込んでいく。

突然、バンドのマイクで、理事長先生が呼ばれて、ステージの「お立ち台」に上がられると、それ迄勝負気分に盛り上がりつつあった会場のざわめきが静かさに変わって行く。

米寿のお祝を迎えられたばかりのお元氣な理事長先生の朗々としたお声が「指圧の心、母こ

ころ、おせば……」ライブハウスの場内を包み込む迫力は、気分に盛り上がったパーティーを、一気に浪越学園の伝統の色を濃くして行った。

パーティーは増々活況を呈しロックンロールバンド「パラダイス」によるバンドライブに入った。ミラーボールの回る光に酔を誘われ、床を這うドラムの音が全身にこたえる。フロアの中央ではスポットライトを浴びながら、満都子先生がリズムに合わせてシルバのステップを軽快に……。私は横目で追いつながら、首をつき出し、腕を「くの字」に、膝をガク／＼と屈伸運動をくり返すうちに、お酒が汗になり、爽快な気分になり、盛大な雰囲気の中、パーティーは再会を約束し幕を閉じた。

その後は幾つかのグループに分かれ二次会へとネオンの街へ消えて行った。



一年生の遠足

第36期A組

水谷 弥生



晴天の秋空の下、九月二十七日(日)、私達一年生は学校前を出発、一路バスは箱根に向いて東名高速に乗る。バスの中はガイドさんの説明を聞きながら、飲んだり食べたりする真最中、約二時間程で乙女峠が見え、最初の目的地、芦ノ湖へ到着。山の中に広がる湖は、静かな表情で一同を迎えてくれました。全員

山道の階段を十分程下りた所に遊覧船が今や遅しとエンジンの音をひびかせながら停泊しています。初めての遊覧船、一番高いデッキの上で湖の周辺の自然の美しさに酔いながら景色を満喫し又満都子先生の有意義なお話を聞き、改めて勉学や実技に頑張ろうと心に誓いました。太陽が真上に昇った頃船は元箱根に到着。昼食は山のホテルで山海料理が用意、湖畔を見下ろしながら舌づつみを打ち、石垣、上野両先生達となごやかな時間を過ごしました。再びバスに乗車、二十分程で箱根小湧園を左に見、彫刻の森美術館へと向つ

た。美術館は日曜日のためか、家族連れや観光客で一杯、屋外展示場では七万㎡の広大な林や芝生の中に近代から現代迄の彫刻が、至る所にあり、心豊かな憩いのひとときを過ごすことが出来ました。ピカソ館では、パブロ・ピカソの生涯に渡る多彩な芸術を鑑賞、天才ピカソを今日程身近かに感じた事はありませんでした。彫刻の森美術館は、自然が作りあげた、箱根の雄大な美しさと、人間が創造した彫刻が溶け合っ出来た芸術的、新鮮な感動を私に与えてくれました。このような体験の場を与えてくれた、先生、旅行委員の方に心から感謝します。又集合写真、スナップ写真は、楽しかった遠足の想い出とし、将来指圧師として再会する時に、お互いに語れる事を期待したいと思えます。

体育祭の

「エッサッサ」の雑感

第36期A組

後藤 半一

日本指圧専門学校伝統の第21回体育祭が、日本指圧協会、日本指圧専門学校同窓会の協賛で「美と躍動」をテーマに十月十日(体育の日)文京第三中学校校庭で青空の下開催された。

我々一年A組のアトラクションは「エッサッサ」、これは日体大の伝統のあるもの、この号令係を私はつとめたのです。実は私自身「エッサッサ」とは何

か知らなかったのですが、全員が参加出来るものである事、気合の入るものだという説明を聞き即座に引き受けた次第でした。しかしこれは軽くこなせるものではないと自覚し、気合がびつたり合う迄何度も「稽古し、練習最後の日、チームワークのおかげでどうにかこぎつけたのです。さていよいよ本番体育祭の日を迎える事になりました。

密集体形、集まれで整列、位置にかけつけ、クラスメートの顔を見てアツと思ひ、それが嬉しい驚きになったのです。みんなの顔付き目付き、気合が入っているのです。私も久し振りに渾身の気合を込めて号令を掛けた次第。退場の時非常な感激が全身を駆け巡り、そして我がクラスメートはすばらしいと誇りに思ったのです。36期A組はやがて日本指圧専門学校歴史にすばらしい一頁を刻むことを信じ又そうあることを願って居ります。



「エッサッサ」
について

第36期A組

松岡由里子

私は「エッサッサ」について調べて見ました。「エッサッサ」という日体大独自の応援スタイルには本学の雄叫びや、勝「葉」を表現したものです。脚を前後に大きく開き、腰を入れ、くろがねの腕を逞しく振りかざすこのフォームは日体大のマスコットの獅子が月明かりに咆哮する様子（さま）を表しています。

この「エッサッサ」の歴史は古く、遠く大正時代迄さかのぼります。当時、日本のスポーツの興隆と相まってスポーツの応援も過熱化し、各校が競って独自の応援スタイルを生み出したと云われています。日本体育会体操学校（日体大の前身）の学生達もこの戦列に加わり、「エッサッサ」という独自の応援スタイルを考案しました。その当時の両国国技館での学生相撲に日体大の選手も出場し、これを応援しようと全校生徒が駆けつけました。まず両国橋上で腰を下ろし、更に「エッサッサ」の合図で応援が始まります。都電もバスも堰止めて、橋桁を揺るがせながらの勇壮なものでした。この余勢をかって一気に国技館に流れ込み、同館の大鉄傘を揺さぶっての雄叫びは、群雄を沈黙せしめたというのですから、この応援スタイルは国技館の花形の座を占めたことはいうまでもありません。その後この「エッサッサ」は裸祭りの名の下で、体育祭や体育研究発表実演会を彩りましたが、現在では「エッサッサ」として多くの人々の知るところになっています。

臨床実習

特別養護老人ホーム

「くすの木の郷」を慰問

第36期A組

森 律子

敬老の日に老人ホーム慰問の有志を募るお話しに、私は迷わず参加の手を挙げました。

子供のいない私にとって、老人ホームは他人事ではなく、老人の悲しい記事を読んでも身につきまされ、自分の将来を考えてしまふ事が多くなったからです。「くすの木の郷」は以外にも都心の生活感溢れる住宅街の一角で、まだ新しく、私は全く安易に「私もいつかこんな所に入れるならいいわ」と思っていました。

簡単な挨拶の後、二人組みで四人部屋を担当しました。指圧といってもまだその順序すらおぼつかないまま、恐る／＼、お部屋に入って行きました。「こんにちは!!」と声をかけても、見知らぬ来訪者に驚く風でもなく、興味を示す風でもなく、私は正直とまどいました。恐らく人恋しさに興味ある目を注いでくるものと思ひ込んでいたから

です。

私が最初に指圧を行った御婦人は、特に無口な性格の方だったのでしようか、ご自分からは全く言葉を発せず、表情も変えず、指圧される事を喜ぶでもなく、拒みもしないのです。私は途中で、一生懸命言葉を探し、会話のきっかけを見つける努力を止めました。

二人目の御婦人は、すでに私達の来訪目的を知り、順番を待ちかねていた様に私が行くなり、肩を寄せて腰の痛みを訴えてきました。私はそこでようやく人心地が着いた気持ちになりました。肩を寄せ何度痛みを訴える顔、そして私の不慣れた指圧で一時でも腰が楽になった時の驚きと喜ぶ顔、あの方の素直な喜怒哀楽の表現が日常、周囲の人々に

必ずしも歓迎されるものか否かは別としてこの時の私にとってはいかに人間らしく、愛おしくさえ思いました。

聞く所によると他のお部屋では、全く触れさせてくれなかったご老人もいらしたそうです。

帰りのバスに乗り込んだ時には、初めての事をやり終えた興奮にまるで病院の様なお部屋で毎日を暮らす表情のないご老人の姿が重く重なり、安易な自分にムチを打たれた様に思いをめぐえませんでした。

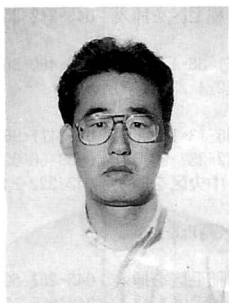
そんな中、唯一心の救いになったのは、たった一人でも腰が楽になったと歩いて見せ、私達の来訪を喜んでくれた方が居てくれたことです。

そしてたった一人の人でも、僅かな時間楽になって明るい顔に戻れるものなら、そう、又来よう、次回はもっと上手な指圧をして上げられる様になって来よう」と心を新にして帰ってまいりました。

プロフィール

第22期

長島 裕一



▶長島裕二さん

高校生の時から漠然と、「トレーナーになりたい」という気持ちはありました。当時私は甲子園を目指す野球少年で、スポーツ障害をして、肩、肘、腰痛、捻挫等の怪我を経験しましたが、その時お世話になったのが、指圧学校の先輩である木更津市の中山清先生でした。中山先生は「長島君が大学に進学するのでもいいけれど指圧の免許でも取ったらどうだい」と。それに君は若い

テーピング、治療器具等の管理。

6、ドクターとのコミュニケーション。

(1)病院との連絡。

(2)ドクターと相談して治療内容の決定。

(3)ドクターと相談してリハビリ・プログラムの作成。

7、オーバーホールの企画、実施。

8、健康診断、体力測定の実施。

昭和五十七年（六十二年、五年間一軍と帯同して、六十年には優勝を経験。昭和六十三年から現在迄五年間は、ファームと帯同して、故障者を担当。特に最近、肩、肘等の手術も積極的にに行われるようになり、術後のリハビリから、ゲーム出場出来る迄、トレーナーの全責任で担当します。選手が復帰出来た時は、喜びと大変なやり甲斐を感じます。

昭和五十三年日本指圧専門学校第二十二期生として入学、昭和五十五年卒業、国家試験も無事合格。これがきっかけで阪神タイガースの誘いもあって、昭和五十七年トレーナーとして、タイガースと契約しました。仕事の内容としては

1、選手が負傷した場合の応急処置。

2、外傷、障害の評価。

負傷した選手が戦列に復帰することが出来るかどうかの判断。

3、アイシングやテーピング各種理学療法。この中にマッサージ（指圧）が入ります。

4、リハビリテーション・プログラムの作成、指導。

5、トレーナーズルーム、トレーニングキット（葉書）

決算付記

収入の部

科目	内 訳	四年度予算	四年度決算
会 費	終 身 会 費	1,270,000	1,250,000
事 業	総会懇親会費	1,000,000	838,000
雑収入	預 金 利 息	20,000	20,106
	そ の 他	100,000	106,000
	計	120,000	126,106
	前年度より繰越	1,913,659	1,913,659
	収 入 合 計	4,303,659	4,127,765

支出の部

科目	内 訳	四年度予算	四年度決算
会 議 費	総 会 費	1,200,000	1,021,753
	役 員 会 費	50,000	22,190
	計	1,250,000	1,043,943
事 業 費	会 報 発 行 費	1,100,000	297,000
	会 員 名 簿 費	50,000	0
	計	1,150,000	297,000
本 部 費	通 信 費	100,000	69,317
	印 刷 費	100,000	6,000
	渉 外 費	200,000	132,000
	交 通 費	50,000	3,880
	慶 弔 費	50,000	20,000
	事 務 用 品 費	20,000	144
	雑 費	20,000	0
	計	540,000	231,341
	予 備 費	200,000	0
	支 出 合 計	3,140,000	1,572,284
	次 年 度 繰 越	1,163,659	2,555,481
	支 出 総 計	4,303,659	4,127,765

日本指圧専門学校 同窓会平成四年度決算報告書

自平成4年4月1日
至平成5年3月31日

収入の部

○終身会費 (一人当一万円)

36期生 A組 六三名分

B組 六二名分

○総会懇親会費

八千円×九六名

○総会ご祝儀

六名の先生から 七万円

○その他

同窓会名簿広告料

六八、〇〇〇円

名簿販売 一九冊分

三八、〇〇〇円

支出の部

○会報一・二号発送費

四、一二五部

一二号の発行費は印刷が遅れたため、年度内の支払いは行なわれませんでした。

○次年度繰り越し内訳

貸付信託

一、七二〇、三七〇円

郵便貯金 八三五、一一一円

特別会計

○母校へ展示ケース三個寄贈

協賛金より支出

一、九一五、八〇〇円

平成五年三月三十一日

会計委員 青木 宏

新刊紹介

病氣知らずの体をつくる本

(定価一、八〇〇円)



浪越徹校長先生が秘伝を公開!

只今好評発売中!

(定価九八〇円)

ソフトでわかり易い
指圧普及に初出版

浪越満都子先生



美しいからだから、
生命の泉が湧きます。

日本指圧専門学校 臨床研究科学生募集

本臨床研究科は発足以来、入学希望者が年々増加し卒業生は何れも指圧の臨床家として社会に自立し、或は指圧指導者として活躍しております。尚将来、この道の専門的な研究と研修を志す方のため、指圧臨床についてより深く高度の知識技能を研究し、その効果を一層あげ、社会に貢献し得る優秀な人材の養成を目的としています。この募集欄にお気付きの方は今からでも遅くはありません。東京03-3813-17354へどんなにお電話下さい。詳しいことをお知らせ致します。

学校法人
浪越学園

日本指圧専門学校
(03)3813-17354

編集後記

◇一面ご紹介のヨーロッパアン指圧協会が誕生しました。浪越 徹先生が招聘されて約十日間、オランダ、イギリスにて講演、実技指導に大変なスケジュールでした。

◇浪越徳治郎先生には十一月三日(祭)米寿を迎えられ益々お元気。

◇石垣惟一先生(会長)は健康で迎えられた八十歳(傘寿)、感激もひとしおの事とお察し致します。

◇第三十四期生、研究科第六期生の卒業式が三月十三日(土)、椿山荘にて挙行政され、一一八名の新同窓生が誕生しました。

◇平成四年度の国家試験の我が母校の合格率は97・5%、ちなみに全国の平均は91%でした。

◇我々の恩師、石塚 寛先生が同窓会総会の当日、「指圧の心母心、おせば生命の泉湧く」の解剖・生理学的意義を講演されます。楽しみです!!

◇会報十二号は在校生からの投稿を多く掲載しました。学校は若さ一杯で満ち溢れています。

◇学校では公認の野球部が発足、近い将来、東京ドーム(専門学校決勝戦)も夢ではありません(ちなみに監督は浪越孝先生です)。入部歓迎!

◇学校内の新鮮さ、新緑の季節に似た感あり。

(藤井記)